

# ななくり

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム広報委員会編集 発行人 園田 茂  
〒514-1295 三重県津市大鳥町4 2 4 番地-1 電話 059-252-1555 (代表)  
ホームページ <http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL4/> F A X 059-252-1383

## 病院長年頭の挨拶

皆様、あけましておめでとうございます。医療費削減政策が大きく取り上げられた平成17年も幕を閉じ、平成18年のスタートです。この社会情勢の中で皆様に質の良い医療を提供するための藤田保健衛生大学七栗サナトリウムの方向性をご説明したいと思います。

医療設備面では、昨年度増築・改築工事を行ったリハビリテーション訓練室(回復期リハビリテーション病棟患者さま以外のための訓練室)、緩和ケアコミュニティドームを活用して、我々の得意な医療分野での質を高めていきたいと思っております。

ソフト面では医師数の増加による、より安定した医療を目指しています。平成18年4月には2-3名の医師増を見込んでおり、内科の専門性を高める方向に進みたいと思っております。昨年得た病院機能評価付加機能リハビリテーションの認定に続き、今年は付加機能緩和ケアの認定を得るべく努力中で

す。また、我々の知識がお役に立つのなら提供したいと思っておりますので、七栗リハビリテーションセミナーや、緩和ケアの講演会、地域講演会などを頻回に行うつもりです。

これからの医療施策は「機能分化」とも言われております。リハビリテーション、栄養サポートチーム(NST)、緩和医療、内科、外科の組合せは、専門的な医療を当院の守備範囲として受け持つとともに、それだけに偏ることのない加療を実現出来る最高の布陣だと思っております。

今後とも七栗サナトリウムをよろしく願い申し上げます。

七栗サナトリウム 病院長 園田 茂



平成17年10月3日、これまで本館1階にありました第2理学療法室は管理棟2階に引っ越して新第2理学療法室・第3作業療法室としてリニューアルオープン致しました。地域に戻った患者さまの再入院リハビリなど幅広いニーズに応えるため回復期リハビリテーション病棟患者さま以外のための訓練室として機能整備されました。



新しい訓練室は見晴らしの良い高台に位置し広くて大きな窓が特徴です。南東の窓からはドングリなどのさまざまな木々が眺められ木漏れ日が訓練室に降り注ぎます。北西の窓からは長閑な田園の景色を臨むことができます。訓練室が開けた土地の高台に建つせいか空を近くに感じることができ開放的な気分になり心が癒されます。患者さまおよびご家族さまからは大変環境がよいとご好評を頂いております。

私たちスタッフ一同は、建物の充実だけでなく中身の充実にも力を入れていく所存です。これまで通り理学療法士と作業療法士が同じスペースでリハビリテーションを行なうことで患者さま個々の目標を共有し機能回復の状態や訓練の進行状況などを常に確認し合い訓練を進めていきます。また、患者さまに快適な病棟生活を送って頂くため、医師、看護師、介



護福祉士らとミーティングを重ね、患者さまの能力を最大限にいかした生活スタイルを考案し提供していきます。私たちは患者さま個人個人の生活スタイルを大切にするとともに、病棟全体の日常生活が活性化するような工夫も行なっていきたいと考えております。介護福祉士を中心に訓練以外の時間帯に立ち上がり訓練や歩行訓練などを行なったり、音楽に合わせたリハビリ体操の時間を設けたりレクリエーション活動を通じて一日の活動量増加のお手伝いをさせていただきます。また、何かとストレスの多い入院生活が少しでもリラックスできるように病棟全体に四季を感じられるような飾り付けをして皆さまに楽しんで頂いています。

これまで以上に活気に満ちあふれてきた第2理学療法室・第3作業療法室です。3名の理学療法士と2名の作業療法士が元気に活動しています。本館5階を通過して管理棟2階に足を運んでみてください。



## 緩和ケアコミュニティドームの開設

藤田保健衛生大学医学部  
外科学・緩和ケア講座  
教授 東口高志

当病棟は、1997年大学病院としては全国で初めて認可された緩和ケアの専門病棟です。2003年10月よりこれまでのわが国における緩和ケアの問題点を省みて、新しい緩和医療の構築を展開しています。その三本柱が①癒し環境の確立、②栄養療法の導入、③全人的医療の実践です。改革から約2年が経過した現在、確実にその成果は得られつつあります。

### 【新システムの効果】

#### 1. 食べて楽しく生きることの延長

①入院後の平均生存期間は、改革前1年、改革後1年目、2年目で、それぞれ35.7日、56.0日、62.3日と有意に延長しています。

②口から食べることのできる期間は、改革前後で平均14日間以上延長しています。

#### 2. 褥瘡(床ずれ)の減少

新規褥瘡発生率は、改革前6ヶ月、改革後6ヶ月、12ヶ月、18ヶ月、24ヶ月目で、それぞれ40.9%、32.4%、10.8%、3.6%、1.9%と著しく減少しています。

#### 3. 麻薬に頼らない症状コントロールの確立

麻薬使用患者数の割合は、改革後1年、2年目で、それぞれ93.1%、75.6%と減少傾向にあります。

### 【コミュニティの構築】

このたび新システムの”4本目の柱”が完成いたしました。それがコミュニティの構築です。患者さんやご家族間のコミュニケーションが自然に得られるような場としての『コミュニティドーム』を開設いたしました。気分転換をはかる行事(コンサートなど)を開催したり患者さんやご家族がティータイムなどを過ごせる空間やコーナー(①畳の間②癒しの間:マッサージ椅子の設置、音楽療法やアロマセラピーなど③サテライトキッチン④図書コーナー⑤大画面テレビ⑥子供が遊べる設備:絵本、ビデオなど)もあります。昨年のクリスマス・イブにはクリスマスパーティーが開催され総勢60名ほどが楽しい時間を過ごしました。

お互いに励ましあったり、悩みを共有してそれぞれのご家族が共に支えあう環境(コミュニティ)の構築を目指しています。

私たちは最新の医学を駆使しつつ患者さんと



東口教授(中央)  
村井医師(左)  
中西看護長(右)

緩和ケアコミュニティドーム内



畳の間 大画面テレビ

マッサージ椅子



図書コーナー

サテライトキッチン



そのご家族を中心としたチーム医療を展開し心安らかにしてすごしていただけるよう今後とも努力いたしたいと思っています。

## 外来医師担当表

	月	火	水	木	金	土
内科	休診	伊藤清医師	伊藤清医師	伊藤清医師	伊藤清医師	伊藤清医師
外科	東口教授	伊藤彰講師	東口教授	村井医師	水野医師	伊藤彰講師
リハビリテーション科	園田教授	鈴木講師	岡崎医師	坂井医師	岡本医師	※交代制

※ 注意 リハビリテーション科土曜日は山中医師・笛吹(うすい)医師が交代で診察します。

## 地域支援室のお知らせ

いつも「在宅介護支援センター」と「医療相談室」をご利用いただきまして、ありがとうございます。

平成17年11月7日より七栗サナトリウム第2期病院機能整備計画の一環として、リハビリテーション棟1階、2階から本館1階外来受付前(旧院長室)に移転いたしました。

今後は地域支援室として入院患者さま、地域のみなさまにご利用していただきやすいように努力していきますので、よろしく願いいたします。

### スタッフ紹介

介護支援専門員(ケアマネージャー)

永田 はるみ(看護師)

工藤 由香里(看護師)

池山 真理子(介護福祉士)

### ケースワーカー

石丸 直樹(社会福祉士)

板谷 幸(社会福祉士)



## お知らせ

市町村合併に伴い当院の住所表示が変わります。

新住所は

三重県津市大鳥町424番地-1 です。